＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	省エネ健康住宅「PI-S HOME」
グループの名称	PI-S HOME 家づくり研究会
直近採択グループ番号	06-0430-0573

（グループ代表者）

代表者名	衣川　義弘	代表者印
代表者所属先	但南建設株式会社	
代表者所在地	兵庫県朝来市山東町滝田148番地1	
代表者電話番号	079-676-5088	

（グループ事務局）

事務局事業者名	但南建設株式会社	
事務局担当者名	中川　満智	印
事務局郵便番号	669-5101	
事務局所在地	兵庫県朝来市山東町滝田148番地1	
事務局電話番号	079-676-5088	
事務局FAX	079-676-5039	
事務局担当者E-mail	nakagawa_m@tn-net.co.jp	

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	省エネ健康住宅「PI-S HOME」
２．グループの名称(必須)	PI-S HOME 家づくり研究会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0430-0573
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	兵庫県　及び近隣府県
５．結成年(必須)	2015　年
６．グループ代表者名(必須)	衣川　義弘
７．グループ代表者の所属先(必須)	但南建設株式会社
８．グループ代表者所在地(必須)	兵庫県朝来市山東町滝田148番地1
９．グループ代表者電話番号(必須)	079-676-5088
１０．グループ事務局事業者名(必須)	但南建設株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	中川　満智
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	669-5101
１３．グループ事務局所在地(必須)	兵庫県朝来市山東町滝田148番地1
１４．グループ事務局電話番号(必須)	079-676-5088
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	079-676-5039
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	nakagawa_m@tn-net.co.jp

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	5	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	8	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	2	
Ⅴ．設計	1	
Ⅵ．施工	5	
Ⅶ．木材を扱わない流通	2	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
Ａ．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	■　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	■　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	■　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外
	兵庫県産材	兵庫県	兵庫県木材証明制度	1	国内
	兵庫県産材	兵庫県	ひょうご県産木材認証制度	1	国内
	京都府産材	京都府	京都府産材木材認証	1	国内

B．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		8	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	3	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		6	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	1	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		5	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積		棟	
				㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟	
				㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	先着順を優先する。次点で未経験工務店を優先する。

E．平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸	
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
28	Ⅰ － 1	株式会社 キョウワ		668-0852	兵庫県豊岡市江本583番地	0796-23-0230
26	Ⅰ － 2	株式会社 八木木材市場		629-0163	京都府南丹市八木町玉ノ井両ヶ谷1番地	0771-42-2225
38	Ⅰ － 3	いしづち森林組合		793-0030	愛媛県西条市大町1211番地	0897-56-0180
34	Ⅰ － 4	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3丁目1-1	0823-71-7141
33	Ⅰ － 5	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2丁目5番地10号	086-222-7671
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ. 製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ. 製材・集成材・合板製造						
26	Ⅱ － 6	坂矢木材 株式会社		622-0031	京都府南丹市園部町船岡栗村60番地	0771-62-3535
34	Ⅱ － 7	東亜林業 株式会社		729-0105	広島県福山市南松永町3丁目2番20号	084-933-5150
33	Ⅱ － 8	銘建工業 株式会社		717-0013	岡山県真庭市勝山1209番地	0867-44-2695
38	Ⅱ － 9	株式会社 サイプレス・スナダヤ		799-1101	愛媛県西条市小松町新屋敷甲1171番地1	0898-72-2421
34	Ⅱ － 10	中国木材 株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
33	Ⅱ － 11	院庄林業 株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22-1	0868-28-2111
28	Ⅱ － 12	有限会社 丸正木材		671-4144	兵庫県宍粟市一宮町下野田580-1	0790-72-0132
28	Ⅱ － 13	株式会社 大野製材所		671-2113	兵庫県姫路市夢前町古知之庄198	079-336-1362
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
28	Ⅲ － 1	株式会社 キョウワ		668-0852	兵庫県豊岡市江本583番地	0796-23-0230
14	Ⅲ － 14	ナイス 株式会社		230-8571	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4丁目33-1	045-521-6161
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜様式 2-2・Ⅳ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞ Ⅳ. プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ. プレカット						
25	Ⅳ － 15	ポラテック西日本 株式会社		520-3405	滋賀県甲賀市甲賀町隠岐2403-17	0748-88-6551
28	Ⅳ － 16	江間忠ウッドベース姫路 株式会社		671-1242	兵庫県姫路市網干区浜田1590	079-272-7705
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

<グループ構成員記入用リスト>Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

<様式 2-2・Ⅴ>

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
28	Ⅴ － 17	但南建設株式会社 一級建築士事務所		669-5101	兵庫県朝来市山東町滝田148番地1	079-676-3121	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							5	○	○
28	Ⅵ - 18	77907	但南建設株式会社		669-5101	兵庫県朝来市山東町滝田148番1	079-676-5088	○	
28	Ⅵ - 19	77831	荒川建築		679-3403	兵庫県朝来市立脇500-12	079-677-0120	○	
28	Ⅵ - 20	77530	オバタ		668-0012	兵庫県豊岡市下陰254-5	0796-23-4574	○	
28	Ⅵ - 21	77860	住真		669-5252	兵庫県朝来市和田山町竹田983	076-674-2391	○	
28	Ⅵ - 22	77931	藤崎建築		669-5264	兵庫県朝来市和田山町加都1424	079-674-2730	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
28	Ⅵ － 18	77907	但南建設株式会社	10 戸	13 戸	10 戸	13 戸	0 戸	0 戸	7 戸	6 戸	㎡	㎡	4以上	4以上	4以上		○	○
28	Ⅵ － 19	77831	荒川建築	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
28	Ⅵ － 20	77530	オバタ	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
28	Ⅵ － 21	77860	住真	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
28	Ⅵ － 22	77931	藤崎建築	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
27	Ⅶ － 23	ノーリツ住設 株式会社		564-0053	大阪府吹田市江の木町21-1	06-6338-2535
28	Ⅶ － 24	株式会社 フジワラ		671-2214	兵庫県姫路市西夢前台1丁目56番地	076-267-5555
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域(必須)	（地域型住宅の名称） 省エネ健康住宅「PI-S HOME」	（地域型住宅供給対象地域） 兵庫県　及び近隣府県
2．グループの名称・結成年(必須)	（グループの名称） PI-S HOME 家づくり研究会	（結成年） 2015　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0430-0573	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	・雪や地震に強い家にするために、積雪荷重を考慮し、耐震等級2以上確保 ・省エネ住宅を生産する上で、省エネ設備に頼るのではなく、リフォームやメンテナンスしづらい構造部（断熱材や窓等）の省エネ性能を重視 ・平成28年省エネ基準「一次エネルギー消費量」の算定を義務化 ・平成28年省エネ基準に準拠したエネルギー消費性能評価の導入	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・基礎構造計算の実施 ・敷地に応じた地盤調査、地盤改良の算定、実施の義務 ・横架材等はスパン表では判定できない場合が多いため、許容応力度計算による寸法算定	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・人々に親しまれている山や谷筋などを眺める視線を遮らないように高さ、配置の配慮 ・屋根、外壁などの基調となる色は、けばけばしくならないように努める ・近隣に圧迫感を与えない、また、積雪により迷惑がかからないよう敷地境界からのセットバックなど心掛ける	○
④ ①～③の背景	主な施工範囲と予想される兵庫県北部に位置する但馬地域は、豊かな自然環境に恵まれ。全般に山地が多く山々が連なり、平地は豊岡盆地など一部に限られる。気候は日本海型で、夏は暑く、冬は北西の季節風の影響を受けて降雪量が多く、寒さが厳しい気候となる。また、多雨多湿で曇天や雪が多いこともあいまって、高原や段丘など特徴的な地形を作り出す景観が各所に点在する。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：完全に用材の寸法規格化を行っているのではなく、地域によって積雪量が違うので、それに応じ強度計算を行い横架材のサイズを算定	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：曲げ強度、湿度に対する強さ、長期的にみた際の反り、寸法精度、単価を考慮し適材適所で使用建材の選定及び、統一を行う	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：仕様を明確化し、決定する	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：当グループ内で統一した共通仕様により建材・資材をリスト化し、共有	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：上記した建材・資材のリストに基づき、一部共同購入することで、コスト削減を図る	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：当グループは運営委員会と技術委員会を設け、運営委員会においては運営要綱、基準等の制度、広報活動に関すること、また、技術委員会においては仕様・維持管理の策定、技術的相談、構成員の技術向上に関することを主に検討事項とする	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：事務局は申請関係、研修会等、省エネ住宅についての情報を各構成員に連絡する役割を担う	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：・木造軸組工法を採用し、構造躯体、羽柄材、下地材等はプレカット加工を多用化。施工手順の合理化を図る。 ・フラット35Sや住宅瑕疵保険の施工基準に準じた施工を行う。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：・当グループの技術委員会が作成した「標準施工チェックリスト」による施工者の検査及び、完成時には施工担当者以外の者(施工構成員)がグループ内検査の実施 ・第三者機関の検査(特に構造躯体に関わる部分)の実施	○
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：設計図書と共に見積書（一式様式を禁止とし、明細書添付）を作成し、施主へ詳細に説明する	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：住宅計画の全体費用を把握できるよう、建物工事費以外も含めた資金計画表を作成し、施主に提出する	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	□ ない	■ ある　→	内容：働き方改革の一環として当グループでは週休2日制を導入する。現場が動いている以上、休めない日もあるが週休2日制の実現に向け努める。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	□ ない	■ ある　→	内容：技能・経験にふさわしい処遇が実現するよう、建設技能者の能力評価制度を策定する。	○
	③ 社会保険への加入	■ ない	□ ある　→	内容：	
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：・建設工事現場の安全性の点検、分析、評価等に係わる取組の促進 ・省力化・生産性向上にも配慮した材料・資機材・施工方法の開発・普及の促進 ・安全及び健康に関する意識の啓発	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）省エネ健康住宅「PI-S HOME」	（地域型住宅供給対象地域）兵庫県　及び近隣府県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）PI-S HOME 家づくり研究会	（結成年）2015　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0430-0573	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：地域型住宅の長寿命化に向けて住宅履歴情報の蓄積、住宅履歴情報保管を義務化	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	■ ない	□ ある →	内容：	
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：定期点検実施に関する報告書の提出（原本→住居者、写し→事務局）	○
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：定期点検実施時期（半年、1年、2年、5年、10年、15年、20年、25年、30年）における点検実施及び報告	◎
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：上記した定期点検において補修箇所がある場合、補修程度、費用、工事日時を速やかに施主に提案する	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：グループ共通の維持管理計画書を作成し、それに基づく点検のスケジュール管理。及び、施主に対して書面と電話によるアポイント取り	◎
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：完成見学会など新規顧客獲得に向けたイベントと同時にOB客に向けたメンテナンスやリフォームについての相談会を開催	○
		③-2 DIY体験会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
		③-3 その他の相談会等の実施	■ ない	□ ある →	内容：	
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：当グループの技術委員会において定期点検報告書などから維持管理について検討する。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：当該構成員（倒産した者）は事務局に報告。事務局を窓口とし、近隣構成員や対応可能な構成員を紹介する	○
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：他業者が施工した瑕疵例を構成員に周知させることで勉強会とする	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			施工構成員各社が契約している住宅瑕疵保険へ加入 万が一、瑕疵が発生した場合の対応の手引きを作成し、住宅引き渡し時に説明を義務付ける			◎

エ．グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	■ ある →	内容：・設計上の留意点や仕様などは省エネ住宅を生産する度に運営委員会・技術委員会に確認 ・温熱計算、断熱設計、シックハウス、構造計算など省エネ住宅に関わる研修会を3ヶ月に1回行う	○
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：長期優良住宅認定や住宅性能評価の取得において、未経験の構成員に対して研修を行い、技術的なサポートや仕様説明、設計施工に関する勉強会等を実施する	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	■ ある →	内容：勉強会において口頭での聞き取り。 さらに、事務局員が現場へ行き施工状況を目視で確認する	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	■ ある →	内容：当グループは活動歴が浅く、省エネ住宅の未経験者が多い。2020年の省エネ住宅性能義務化に向け、未経験者を無くすことによって、地域型住宅市場の拡大に貢献する	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	■ ある →	内容：国の省エネルギー施策を意識し、当グループ内で情報と技術を共有する	◎
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	■ ある →	内容：業種：原木供給、製材、建材流通、プレカット、設計、施工のグループネットワークを活かし、仕様の共通化・情報共有を強化し、品質の安定化を図る	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　9		今年度の参加目標人数　2	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　4		今年度の参加目標人数　1	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：当事務局より施工グループの構成員をはじめ、各構成員に木造住宅生産体制強化推進協議会が主催する省エネルギー技術講習会の受講を義務化	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：新たに開発された省エネ建材等を事前に省エネ計算・エネルギーシミュレーションに基づき長いスパンでのコスト算出を行い、施主に対しランニングコストでの優位性を説明し導入を図る	◎
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：実際に住まわれている住宅にて、HEMSによるエネルギー測定・光熱費のデータ・室内の温湿度の測定データの蓄積により省エネ性能の検討を図る	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－３＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）省エネ健康住宅「PI-S HOME」	（地域型住宅供給対象地域）兵庫県　及び近隣府県
2．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）PI-S HOME 家づくり研究会	（結成年）2015 年
3．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0430-0573	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	グループ指定の地域材を使用し、可能な範囲で50%以上を目指す。 主な施行エリアは積雪地域が多く、大スパンで使用される横架材の梁せいが大きくなることが多々ある。集成材を使うことでクリアされるが許容応力度計算により、可能な限り地域材を使用し地域材の使用量増加に努める	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	■ 50%未満　□ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：■ 使用していない　□ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある →　内容：連絡用のEメールを活用し、地域材の供給グループから、地域材の出荷状況等の情報を提供してもらい全構成員が情報共有できる体制づくりに取り組む	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	■ ない　□ ある →　内容：	
	② グループ全体における地域材の需給予測	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：くつろげる空間のひとつとしてLDKに併設させて和室を提案し、積極的に畳を採用する	◎
	①-2 和瓦の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：和室の雰囲気を調和するよう積極的に襖を採用する	○
	①-4 障子の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：住宅地、集落または周辺環境に応じて調和するように配慮する	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→　内容：建築地によっては景観条例があるので、街並みや周辺環境に調和するように配慮する	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	■ 行っていない　□ 行っている→　内容：	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 省エネ健康住宅「PI-S HOME」	（地域型住宅供給対象地域） 兵庫県　及び近隣府県
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） PI-S HOME 家づくり研究会	（結成年） 2015 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0430-0573	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

主な施工地域と予想される兵庫県北部に位置する但馬は、気候区分で「山陰型」に属します。山陰型とは、中国山地に隔てられた日本海側にみられる独特の気候で、その上、複雑な地形が特殊な気候をつくりだしています。但馬の東部には円山川が流れ、下流に豊岡盆地・出石盆地などの平地がありますが、西部には高い山と谷間が続き、山は日本海に直接落ち込んで、海岸には絶壁が多くあります。このような複雑な地形のため、夏は暑く、冬は寒いという但馬独特の気候は、地域によっても多彩な違いを見せています。夏は、最高気温が39～40.5度、最高湿度80～85%と、緯度にして20度以上も赤道に近いマニラにほぼ近く、非常に蒸し暑くて過ごしにくい日が多くあります。逆に、冬は最低気温が日によって-10度を下まわることもあります。このように、夏暑く、冬寒いという年格差の大きい気候が但馬の特徴です。地球上の年降水量は、平均750～850mmといわれ、日本の多くの地域はこれをはるかに上回り、本州で1500mm、四国・九州で2000mm以上に達します。但馬では、城崎で2600mm、生野・和田山で1800mmで、城崎の降水量のピークは、冬の雪の降る時期、生野のピークは台風シーズンです。梅雨前後は、前線に近い瀬戸内海側に雨が多く、県中部の山岳地帯にさえぎられた但馬では、かえって雨が少ないのです。冬型の気圧配置になると、大陸の高気圧から吹き出される乾燥した低温の大気が、日本海側で大量の水蒸気を供給されて湿っぽくなり、それが日本列島を縦断する山脈にぶつかって大量の雪を降らせるため、但馬は、本州西南部としては珍しい多雪地帯となっています。
このような気候に対し、有効な対策として調湿する断熱材セルロースファイバー（デコスドライ工法）を採用し、また結露対策として有効的な樹脂窓を採用する。また冬期の日射取得、及び、夏期の日射遮蔽を意識した窓計画をする。この事により高度省エネ型を設備だけに頼らずに達成するとともに、国が目指す2030年までに全世帯のHEMS導入を見据え、エネルギーの見える化を促進させ高度省エネ型の住宅にはHEMSを導入し、よりランニングコストの削減に繋がるように努めお客様の満足度を上げる。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。